

## 京都の世界遺産

嵯峨乃やのかわら版では、世界遺産である京都をご紹介します。

### 京都の文化世界遺産シリーズ その3



### 清水寺 (きよみずでら)

もとは法相宗に属していましたが、現在は独立して北法相宗大本山を名乗ります。

奈良時代末期、778年に僧延鎮が開山し、平安建都間もない延暦17年(798年)坂上田村麻呂が仏殿を建立したと伝えられています。

現在の建物の多くは、寛永8年から10年(1631年から1633年)、徳川家光の寄進によって再建されたものです。

「清水寺」という寺名は、音羽山中より今もなお途切れることなくこんこんと湧く『音羽の滝』に流れる霊泉に由来しています。この霊泉は「すべての人を救う」観音さまのご利益とあわせ、古来より無病息災、立身出世、財福、良縁、子授けといった現世利益を願う人々の参拝を集めてきました。

平安京遷都以前からの歴史を持つ京都では数少ない寺院の1つであり、西国三十三箇所観音霊場の第16番札所でもあります。

本堂は『清水の舞台(きよみずのぶたい)』とも呼ばれ、国宝に指定されています。崖にせり出すように造られた舞台は、釘を一本も使わずに組み上げた木造建築で、「懸造り(かけづくり)」と呼ばれ、最長12メートルに及ぶケヤキの柱で支えられています。「清水の舞台から飛び降りる」の語源となりました。舞台からの京都市内の眺望は、絶景です。



本堂の舞台

また、緑深い境内には、すべて重要文化財に指定されている様々な意匠のお堂が、15塔あります。そのお堂を回って見るのも、悠久の歴史に触れる楽しみの一つです。

京都への旅行のご相談などもお気軽にどうぞ。

その他着物のことなどお気軽にご相談ください。

着物のクリーニングを承っています。

嵯峨乃や

TEL 0573-28-3171